



本郷台小 だより

12月

横浜市立本郷台小学校
令和5年11月30日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ： <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

十人十色

校長 原 南実子

今年は11月の半ばまで気温の高い日が続きましたが、そんな中でも、子ども達はたくさん秋を見つけてきました。紅葉した落ち葉、どんぐり、くり、すすき、いろんな木の実、夏の花が咲き終わった後のできている種、キンモクセイ、かりん、コスモス、菊などなど。昇降口の棚のところに、子ども達からもらった秋を飾ってきましたが、もう棚がいっぱいになるほど秋が飾られました。今朝は、黄色に色付いたイチヨウの葉を花束のようにして持ってきた子がいて、クラスでみんなに教えるんだ、と嬉しそうでした。季節ごとの自然を楽しめる台小の子ども達の豊かな感性は本当に素敵です。

さて、本校では、お隣の本郷特別支援学校の子ども達との交流を毎年行っています。コロナ禍の3年間は直接会って交流することはできませんでしたが、歌を録音して贈ったり、手紙を交流したり、図工の作品を贈ったりし、また、本郷特別支援学校の小学部2年生から6年生までの子ども達からも、それぞれの学年で作った作品を贈ってもらい、校内に掲示するなどして交流を行って来ました。今年度は、4年ぶりに直接会って交流をしています。交流に先立ち、本郷特別支援学校の坂本征之副校長先生に来ていただき、2年生から6年生まで、本郷特別支援学校のお友達との交流についてお話を聞きました。見方を変えると見え方は変わる、人と違っていることはいけない事ではないこと、誰でも得意なことと苦手なことがあることなどを、頭の体操（反転図形を見て何に見えるかクイズ）や「十人十色なカエルの子（東京書籍・落合みどり著・宮本信也医学解説・ふじわらひろ子イラスト）」の本をもとにしたお話を通して、とても分かり易く伝えてくださり、特別支援学校の子ども達について学ぶ事ができました。坂本先生は、子ども達に問いかけ、「わたしはこんなふうに思う」「ぼくはこんなふうに見える、わたしはこう考える」など子ども達の素直な気持ちや声をたくさん聴いていただきました。そうした一人ひとりの話も聞きながら、子ども達は、いろんな感じ方があるんだな、みんなそれぞれなんだな、という事も感じたようです。2時間目に2年生と3年生、3時間目に4年生、5年生、6年生がお話を聞きましたが、とても充実した学びの時間でした。坂本先生のお話を聞いた5年生の振り返りと、先日、本郷特別支援学校の2年生と交流した台小2年生の感想を紹介します。

（5年生）◆私は坂本先生のお話を聞いて、やっぱり人それぞれ個人差があるんだなと思いました。一つのことをより丁寧にしたり、あまり得意でないものが誰でもあったりして、いろいろな人がいるから社会が成り立っているんだなと思いました。ほかの人が自分と違うのは当たり前だから、〇〇だからいやだという考え方は違うと改めて感じました。これからは自分の行動を見つめ、改めて、みんな平等でいたいと思いました。◆頭の体操のとき、それぞれ違う見方で見ていたので、十人十色ってこのことだったんだなあと感じました。今回のお話を聞いて、「みんなちがって、みんないい」という詩を思い出しました。◆今日の授業で、改めてみんなが住みやすい社会にしたいと思いました。

（2年生）◆楽しい交流になってよかったと思いました。どうしてかということ、かえるときに、「じゃあね！」「バイバイ！」と言ってくれたから、友達になれたんだと思いました。◆エビカニックスのダンスや、教えてもらったパラバルーンの遊びをして、「仲良くなろう」というめあてが達成できたと思いました。また遊びに行きたいです。◆本郷特別支援学校の友達と交流をして、めあてを半分達成できたと思いました。楽しく遊ぶことはできたけど、楽しく話しかけることはあまりできなかったの、来年の交流で声をかけて仲良くなりたいと思いました。◆本郷特別支援学校のお友達といろいろ話して楽しかったです。じこしょうかいの時にすきなものを教えてもらってうれしかったです。

見方を変えることで見え方が違うという感性を磨き、十人十色という言葉を実感しながら、一人ひとりが大切な存在であるということこれから学び続けてほしいと願います。